

警時城報

行發日二十二
印刷所警時城報社
印刷所警時城報社
發行所警時城報社
一部金貳圓、一月金貳拾圓
廣告料一行十文字詰五十錢
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

警防團後援會の寄附額

豫定の二萬圓に達す

平市警防團後援會は主唱者市議大谷武雄氏が自ら陣頭に立ち寄附募集中であつたが二十一日豫定の三萬圓に達した。同寄附金は自動車を二臺を購入する外、警防團の陣容強化に當てる。寄附者次の通り

▲五千圓 諸橋久太郎
▲二千五百圓 山田茂一郎
▲千圓 百澤易興、平市銀行組合、大日本電力會社、柏原幸次郎、片倉磐城製糸會社

▲五百圓 横山彰介、山野遊陽、平藤政房組合、堀江正茂、根本善吉、鈴木新右衛門、久野ひさ、平電力會社、中野庄吉、酒井秀治郎、加藤武久、猪狩庄平

▲四百圓 小原善八、吉田山三郎
▲三百圓 井尻雅國、色川村木店、瀧口豊、關内正一、谷本、堀江工業、平製

▲二百五十圓 平製鋼所、永山小平
▲二百圓 志賀繁榮、川又章二、佐藤源吉、平製作所、佐藤福太郎、五十嵐小平、明徳堂、大竹芳之介、阿部唯次郎、金子重次、吉野健助、阿部政右衛門、河田梅吉、平運輸會社、關野商店、平病院、織田高治郎、

防空訓練の模範

一名を平署で表彰

平署では防空訓練中の模範として永戸村橋の木家庭防空隊員草野よし(四三)と内郷村鐵道部出張所瓜生部長を二十二日表彰した。

▲草野よしさんは十九日同村大空の豫想で綜合訓練中消防の應援を求め傳令を命令されるや自分の馬に乗つて十五平法曹團では二十一日植田町飯町余計でた詰所に急報したの川から同海岸で地曳網、遊泳、

半島人の誠意

三十圓の寄附申立

以上寄附者のうち平市材木町濱特に之を受ける事になつたもの田芳男氏は半島人であるが、こであるが、關係者一同同氏の誠の計劃に賛意を表し自發的に三十圓の寄附を申し出たものである。

陸上運動會を催したが、裁判所員をはじめ辯護士、司法書記等参加者多数であつた。

近衛内閣

顔ぶれ決定

近衛内閣の閣僚顔ぶれは左の如く決定。廿二日新任式が行はれる。

内閣總理大臣 近衛 文麿
外務大臣兼拓務大臣 松岡 洋右
内務大臣兼厚生大臣 前田 安井 英二
陸軍大臣 東條 英機
海軍大臣(兼任) 吉田 善吾
大藏大臣 元内閣書記官長 河田 烈
司法大臣 元内閣書記官長 風見 章
文部大臣 第一高等學校校長 橋田 邦彦
農林大臣 中央金庫理事 石黒 忠篤
商工大臣 東電會長 小林 一三
逓信大臣兼鐵道大臣 大原商船社長 村田 省藏
無任所大臣兼企画院總裁 滿洲國總務長官 星野直樹
法政部長(有力) 富田 健治
長野縣知事 富田 健治
内閣書記官長(有力) 太田 正孝
衆議院議員 太田 正孝

廿二日の日曜日、石城各濱賑はふ四倉町は空前の人出

きのふ二十一日は土用丑の日と乗降客は乗客九千四百四十七名第三日曜日、それに防空訓練降客一万四千四百十三名で平常の了の慰安等好條件が重つたので約四倍、例年土用丑の日の二倍はつたが、殊に四倉町は賑ひを總動員し七分に運轉したの久の濱町波立薬師祭典が行は道三千人を輪送し空前の賑ひをたため非常な賑ひを呈した。らうと言つてゐる。四倉町から平署では當日の出入を豫想し平波立薬師海岸の出入五万と言は久濱間上下二本宛の臨時列車、脱衣場の賣上げは二百四五車を任立てた外各列車に増結し十回から五百回位の商ひがあつて混雑緩和に努めたが、それでた。

平料理屋組合で藝妓屋組合に對抗 内座料金引下問題

平藝妓屋組合では従來藝妓の玉から本玉一本の捺除額を十五圓代一本(三十分七十五圓)から料に、半玉八圓に引下げる事とな理由組合員に對し内座料として料理屋組合に通知した。料理二十一圓、半玉四十圓から九圓屋組合では二十一日午後九時から控除してゐたが、物價騰貴の末廣に急遽總會を開き協議のためと増税のためと二十一日結果藝妓屋組合の通知を拒絶した。

野球選手出發 磐中、平商

磐中、平商野球部ではいよいよ縣下大會が二十三日から福島市で開催されるのでこれが制覇を目ざし二十一日午後六時城球協會主催の縣下中等學校十五分で勇ましく出發したが、の第一回軟式野球大會は期日の宿舎は平商が西屋旅館、磐中が金湊旅館である。向組合は二十一日午後二時からのキャプテン會議で決定される。

四倉工場視察 軟式野球 決勝大會

本縣工場協會四倉支部視察の爲め二十一日縣勢政課より今野警部が來町し警務センター工場視察して歸郷した。

新しき心構へ

増田次郎

(一) 現在の我々の生活はどよめぐるしく轉換しつゝあるものはないから、昨日のそれはもはや現在では通用しないのである。我々はそのめまぐるしい轉換の渦中にあるから、それほど深く感じないのであるけれど、若しこれを後世の史家が公正なる筆を揮ふならば、果していかなる批評を加へるであらうかと想ひをはせるとき

もう一度冷静に事態の轉々推考を考へなければならぬ。そこで第一に考へることはこの劇しい轉變の世相にあつて、何を爲さなければならぬかである。このことは誰しも考へるべきであらう。然しただ考へるだけではどうにもならない。その考へがどれだけ現実に適切であるか、更にその實踐性を持つかが考慮されなければならない。極めて

庭球大會 續々申込

平教員10-0中村(コールドゲーム) 小名濱4-1平天狗(降雨コールドゲーム)

閣で罰金 既報、自轉車のタイヤとチューブの閣取で三百六十圓を備けたこと野引で平署に檢舉された平市田町自轉車並附屬品卸小賣商鈴木清(四八)は其後平檢事局に送られ取調を受けつゝこの程起訴され罰金二百圓に處された。

夏の不良狩 平署ではこれからの夏祭、盆踊、海水浴やキャンプなどに付物の不良横行シーソンの監視に充分注意されたいと警告すると共に不良取締は固より苟くも時局を辨へねばならず取締ることになつた。

戦時であり、東亞新秩序の再建は自分の双肩にかゝつてゐる。家庭生活は自ら大なる改革を加へられなければならない。それでこそ大なる國策が遂行されるのである。私は世間に傳へられてゐる國策や買溜めが果してとれほどの規模と範圍で行はれてゐるかを知らないが、その度毎にこの繁華の屋正はどうしても個人の自覚と家庭生活の改革に俟たなければならないことを痛感するものである。修身齊家は現在でも國策遂行の大本である。このことが看過度外視されて

先づ自分を三省することである。所謂身を修めることである。果して自分の生活が東亞新秩序の建設を遂行し得る程革新されてゐるかどうかが、眞の戦時體制にふさはしい生活が現在行はれてゐるかどうかが一箇同胞がこのことを徹底して政へない以上、どうして財政經濟の戦時體制が具現されやうか。われわれはドイツの戦前に於ける國民生活が凡そいかなる信念の下に行つてきたかを問はされてきた。

鎌倉漫談

(四) 根本 毅一

だから見給ひ、頼朝の歿した後は後見役の北條時政の御手盛り、さね、承久元年一月二十七日頼朝から三代目の實朝公右大臣拜賀の式を鶴ヶ岡八幡宮に行つた、その日はエライ大雪に降り、その別公曉が石段の向つて左わきの銀杏樹の蔭から跳り出て公を殺して自分も儀仗の間に斃されて源氏の正統が全滅してしまつたと云ふ實に憐れな終曲さね、この公曉とてそのオツチヨコチヨイを北條から見透がされてうまく持ち上げられたに違ひないね、昔からの諺に七人の子を生むとも女に心を許すなど、甚だ婦人には不利な文句だが斯んな類例は往々あることで、嫁入先の亭主よりも實家の親兄妹可愛さに婚嫁先の不爲めな事をして迄も實家の幸福にとめる人道に外れた女があるもので、政子などはその方の大統領とも云ふべきものだね、女は情に動き、男は理智に動くて敷居から外の亭主の仕事に兎や角と口を出す女房は出過ぎもので、それに巻かれて行動に迷ふやうな男では世の中の働きものではないからな。頼朝の踏んだ道を見て互ツツカリしなげりやならない所だ。茲に吾が社の綱領にもありだ、猜疑と嫉視を排撃すべしと……。

むかし支那に劉備と項羽とが立つて中原の鹿たる姿を止ぼしたが一國の内に兩虎相立たず遂に項羽と劉備が戦を交へたが劉備は能くまで理智の將、項羽は威風凛々たる愛人に精銳を獻げな程の情熱の將、情熱の將は理智に敗れ、力山を抜き氣世を蓋ふ、なぞと下ライイ事を云つても「威風凛々、わしはお前の事を如何うしやう」とな事を云つて、○下の城(今の徐州)を批つて討死をいたしました。劉備は

洋酒と喫茶
麗人のサービス
氣分本位の店
タイラ・ギンギン通り
グリンパックス
電話二〇〇番

無盡蔵
趣味貯蓄
簡易金融
出張所縣内各町

精神修養に……
仕舞
喜多流 白土會
「入會隨意」平市田町六九

氷の御用は
電話二二一三番
魚問屋へ
鯉節製造販賣
(日本生命平代理店)
平市四丁目
志賀盛榮商店

和文タイプライター
最新事務用品類
文具房具一式
製圖並に測量用品
謄寫版並に附屬品
平市田町銀座街
藤森
電話三七〇番
電話一五〇番
【會商器用務事藤森】

女車掌募集 (三名)
1. 年齢十六才より十九才まで
2. 未経験者にも可
3. 給料其他は委細面談
合名平・四倉乗合自動車
平市四丁目 【電話五四九番】

肋膜・氣管支・關節・神経痛・肺炎・ロイマチス……
漢方生公華
貼薬
湿布で名薬
平市五丁目角
山野邊藥局

貸家廣告
○平市胡摩澤元タマルヤ跡
一、壹軒建拾壹間
一、八疊二間、六疊八間
病院又は旅館向、外二二三十坪位の庭園あり
御希望の方は田町石川亭に御來談下さい
平市田町 【電話四三番】
石川亭

安田生命 保
日本共立火災 險
東京動産火災 險
平代理店 井上貞治郎
平市五丁目 電話六六番

酒
味
平市田町

内臓外科
整形外科
平市大町二番地
内木外科醫院
醫學博士 内木宗八
電話二九六番
入院隨時

優秀純國産
アサヒ ミシン
ニッポン ミシン
ニッサン ミシン
シンガー ミシン
非常時服型録進呈
現金・月賦◎教授
常磐線特約販賣店
平市驛前田町
ミンガー・ミン商會

内臓外科 内臓外科 腸脊髓病科
整形外科 整形外科 醫學博士
胃腸 胃腸病科
性病 花柳病科 皮膚科 泌尿器病科
平市南町 電話一〇七
松村醫院

女販賣員を募る
採用員 五名
年齢 十八歳ヨリ二十歳マデ
◎詳細ハ平職業紹介所ニ問ヒ合セ下サイ
平市
三井呉服店
電話 二三八番